国語 二―四	中学校第一学年の内容 文語のきまり・訓読のしかた （書き下し文）	年 組 番 名前

取り組んだ日　月　日

基本事項確認

＊漢文の訓読について

漢字ばかりの中国語の文を漢文（白文）と言います。昔の日本人は、漢文を日本語風に読む方法を開発しました。その読み方を「訓読」と言います。漢文を訓読するためには、中国語と日本語の「語の順番の違い」と「助詞と助動詞、用言の活用語尾が表記されない」という二つの違いをクリアする必要がありました。

語の順番の違いは、漢文の左下に、「返り点」を書きました。中国語では表記されない言葉は、漢文の右下に「送りがな」（小さなカタカナ）で書きました。返り点と送りがなをつけた文を「訓読文」と言います。訓読文を漢字・仮名交じりに書き改めた文を「書き下し文」と言います。

白文・・・・・・　春　眠　不　覚　暁

訓読文・・・・・・　春　眠　不レ　覚ヱレ　暁ヲ

書き下し文・・・　春眠暁を覚えず

問題　次の文の中から書き下し文を三つ選び、記号で書きましょう。

（　　）

ア　少年老い易く、学成り難し

イ　不　亦　説　乎

ウ　我　読ムレ　書ヲ

エ　百聞は一見に如かず

オ　不レ　合ハレ　理ニ

カ　歳月人を待たず

キ　夜　来　風　雨ノ　声

ク　花　落　知　多　少